



夏休みだからこそそのチャレンジ！

部長 松本安博

今年も、猛暑の夏休みになりそうです。明日から38日間の夏休みが始まります。

1年生は初めての、6年生は初等部生活最後の夏休みとなります。上級生になればなるほど、習いごとや学びごともあることと思います。しかし、少しはのんびりもしながら、夏休みだからこそできる、夏休みだからこそ取り組みたいチャレンジを見つけ、充実した日々を過ごすことを願っています。

さて、そうした願いを込めて夏休み号では、初等部の教育課程の特色について、特に下の⑤についてお話をさせていただきます。

- ① 課題（問題）解決的な学習を指導法の基本としていることです。
- ② 教えることはしっかり教え、考えさせることはじっくり考えさせ、すべての教育活動において言語活動を重視していることです。
- ③ 7大行事や見学、遠足、出前授業など、創造的かつ総合的、体験的な学習を多く取り入れていることです。
- ④ 学習指導要領に示された標準授業時数より、授業時数を多くしていることです。
- ⑤ 授業の終末や単元末をオープンエンドにしていることです。

初等部の教育課程の特色をまとめると、上のようになります。⑤の記述にあるオープンエンドですが、初等部が目指すオープンエンドとは、学習者の新たな疑問や探究、関心意欲を引き出すために1時間の授業や単元の終わり方に広がりをもたせる教育方法です。つまり、学習の終わりを意図的に広げ、開けておく教育課程のことです。

具体的には、次の事例にあるように「課題から課題へ、問題から問題へ」と、学習者自らに学びを創造・発展させ、新しい学びを見出させていくことがねらいです。

【事例】 「今日学習して、みんなで調べたくなったり、考えたくなったりしたことはありませんか。」と問い、新たな課題（問題）を見出します。

【事例】 「学習の要点（大切なこと）をまとめた新聞を作ろう。」と投げかけ、作品をコンクールに出品します。

【事例】 「学習で作った短歌や俳句を集めよう。」と投げかけ、みんなで表紙を作成したり、挿絵を工夫したりして短歌集・俳句集を作ります。また、コンクールにも出品します。

今年の夏休みも学年に応じて、夏休みの課題（自由研究）が出されています。その課題から新たな課題を見出して、追究していくチャレンジを期待したいと思います。また、配付した夏休みのコンクールやコンテストをまとめたプリントを参考に、これまでの学習で培った知識や技能、アイデアを用いて作品を仕上げ、応募するチャレンジも大いに期待したいと思います。

「よく学び！よく遊べ！」、各ご家庭におかれましては、健康と安全を心掛け、今年の夏休みも有意義にお過ごしください。

【1年生が育てているアサガオ】



「花で色水を作って絵を描こう。」
「観察日記を書こう。」
「つるの巻き方のきまりを見付けよう。」
「種のを数を数えよう。」
「種をプレゼントしよう。」